

令和3年度 白馬幼稚園 「自己評価および園関係者評価」

1. 園の教育目標

“みんなのびのび えがおほかほか はくばっこ”

～ 白馬の恵まれた自然の中で 心豊かな子どもを育もう ～

2. 本年度の重点目標

- ・多くの豊かな体験活動から 科学的なものの見方や考え方ができる子
- ・失敗をおそれず どんなことにも 楽しく挑戦する子
- ・歌って自分を励まし、歌って仲間の輪を広げようとする子

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・コロナ禍の中でも通園に不安を感じなかったのも、評価相応。
- ・皆熱心に取り組んでいるので、オールAでもよい。
- ・園全体で子どもたちを見てくれているという実感があり、先生方の努力が見えるので意見は特にならない。
- ・B評価の項目があったらすぐに対応していることも分かるので、A評価は納得できる。
- ・職員が少ない中で、全ての項目を手薄にならぬよう取り組んでいることが分かる。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・園の運営で細かな点で不十分なところはたくさんある。これらのことは園内の各反省で出されており、その都度最善策を検討している。そして改善に努めている。こうした見返しがあって、改善したことも含めてAの評価になっている。
- ・「日々の保育の振り返り」については、各自が行っているが、その振り返りの時間をきちんと取れないでいる。研修や自己研鑽の時間を取るゆとりある運営ができれば良いのだが、なかなかできない。
- ・「子育て支援」については、親の意向を理解せず、周りの意見も聞かず、園長が勝手に支援方法を変えようとしたことがあるので、反省している。
- ・ゆとりある時間の確保ができず、職員の負担は大きい。前向きに努力してきたことはお互い認めていきたいと思う。園運営で細かな点の反省はあるので、さらに皆が納得できるようにしていきたい。